

山内 彬 議員

- 4期目再選出馬について
- 複合庁舎建設等まちなか再生基本計画について
- 「まちづくり会社」について



議員 四期出馬をどう考えているのか

町長 秋ごろまでに考えを報告したい

議員

任期も残すところ8カ月あまりとなったが、四選出馬の有無について伺いたい。

町長

自身の一存で決まるものではなく、これまでご支援をいただいた方々のお考えもあると思いますので、秋ごろまでには考えをまとめ、ご報告させていただきます。

議員

一昨年から庁舎建設、まちづくり再生問題を含め町民の方々に構想の内容を説明してきているが、町民との距離についてどう捉えているのか。

町長

距離感という判断は私の四選出馬ということですので、いろいろな方々からご意見をいただき一定の結論をだしたいと考えています。

議員 農協及び北見信金からの回答は

町長 農協は別な場所へ北見信金は既存事務所で

議員

役場との合築はやらないこととなったが、農協及び北見信金側からどのような回答があったのか。

町長

北見信金側から「当面、現状での運営を続けていく」とし、農協については平成32年5月ごろに新事務所への移転を目指し、早期に建設を進めたいとのこと。

議員

農協事務所は具体的な位置として、津別ハイヤーから社会福祉協議会までの区域を希望しています。

議員

社会福祉協議会とは移転先の協議まで進めていると聞いているがどうなのか。

町長

再度計画案をつくるうえで、移動対象となるとすればどう

いう意向をもっているか、事前に聞いています。

議員

町が第2庁舎の場所を拒否することは考えていないのか伺いたい。

町長

拒否することは考えていません。協力しながら周辺一帯の再生整備を行うことを考えており、農協は、現在の位置を公共的なものにするのであれば、提供するという考えを持っているようです。

議員 観光事業と地方創生事業を一元化すべきでは

町長 現時点では難しい

議員

今後、地方創生事業のまちづくりを進めるためには、観光事業との一元化を図るべきではないか。

町長

現段階では観光事務と地方創生事務事業を一元化するこ



とはむずかしいと考えており、将来的には発展的に観光施策が移住・定住、人口減少対策の地域振興に直結する環境を整えて、一元化していくことが望ましいと考えています。

議員

来年の3月頃には「まちづくり会社」を設立したいとのことであるが、所管と事務所等はどう考えているのか伺いたい。

町長

円滑な経営、運営ができるようになるまでは地方創生推進グループが所管すべきではないかと考えており、事務所については、当面役場庁舎で考えています。

高橋 剛 議員

○ 相生総合ターミナル（道の駅あいおい）
周辺の整備について



議員

相生総合ターミナル周辺整備を
進めた方がよいのではないか

町長 大量に予算を割くことはできないが
なまぞまな意見を尊重し進める

議員

旧相生駅舎について、前管理者から雨漏りの報告を受けていると思うが、修繕も含めて維持管理はどう考えているのか。

町長

旧相生駅舎は建設から93年を数える歴史的な建物です。そのため、経年劣化はありますが、土台や骨組みは比較的しっかりしているので、建物の老朽化の状況を見ながら対応したいと考えています。

議員

相生物産館で食品の製造、販売を引き継ぐと聞いているが、雨漏りは食品衛生上、問題がある。コストをかけない形で修繕を考えられないか。

町長

平成19年、27年にも修繕を行っていますが、旧駅舎は、できるだけ原型を保つことが良

さだと思っておりますので、そこに必要な補修は検討させていただきます。

議員

議員

旧官舎の維持管理はどう考えているのか。

町長

地域からは、環境上の問題を指摘される一方、残すべきとの意見があります。現在検討を行っていますが、具体的なものになっていません。

議員

同じような状態が十年以上続いている。再度地域の方々の意見を聞いて、方向性をだしてはどうか。

町長

ネオフオークの活動が充実してきており、相生全体の絵も描かれています。人手もマネジメントもネオフオークの頭にありますので、今すぐに



旧相生駅舎

取り壊す状況にはもっていけない状況ですが、これ以上劣化が進めば、壊すという判断をしなければならぬと感じています。

議員

旧車両庫について、安全面を考慮して、立ち入りを制限すべきと考えるがどうか。

町長

旧車両庫は全体的に劣化が進み危険なため、雪解け前にバリケードテープを張り、注意喚起します。官舎と同様にこれ以上崩壊が進めば、解体もやむを得ないと考えています。

議員

展示車両の修繕管理についてどう考えているのか。

町長

経年劣化により、状態は悪化していると認識しています。修繕にあたっては、専門家の意見を聞きながら見積もりをたてます。費用がかさむ場合は、ふるさと納税の項目の一つとすることも検討します。

議員

周辺の建物を残す場合には観光資源となるようアピールをし、壊すのであれば、取り壊し計画を立ててみてはどうか。

町長

大量にお金を投入することは難しいと考えますが、駐車場整備やクマヤキハウス建設などを進めています。鉄道マニアにとっては興味深い土地であると思いますので、看板やインターネットに掲載することはPRになり、検討していきたいと考えます。

小林 教行 議員

- 後部座席のシートベルトの着用について
- トレーニングルームについて



議員

シートベルトの着用を促してはどうか

町長 家庭の他、各関係者の協力を得て教育していきたい

議員

平成20年以降、後部座席を含む全席シートベルトの着用が義務となった。運転席、助手席に比べ後部座席のシートベルト着用率が低い現状に対し、今後の対応を伺いたい。

町長

交通安全協会等、各会を通してシートベルトやチャイルドシートの全席着用の徹底と、地域や職場における着用率の向上に向けた取り組みを進めており、少しずつ上昇しています。今後も町民一人一人の自覚向上を図るべく、粘り強い運動を展開していきます。



議員

シートベルトは自分の命を守るためだけでなく、他人の

人生を守る可能性がある。自分のためであり、人のためでもあるといった啓蒙をしてはどうか。

町長

交通安全町民大会や、さまざまな方たちの協力を頂き、事故につながるりそうなものを排除していく意識を町民の皆さんに持っていただく運動を展開していきたいと思えます。

議員

スクールバスの乗車指導について、こども園に通う未就学児は保護者がシートベルトの確認を行っているが、小学生に上がったらシートベルトをしなくていいと誤った認識が広がっている。年長者には幼い子たちのためにも模範となるようにシートベルトの着用を促してはどうか。

町長

各家庭の他、関係機関等の

協力を得て、シートベルトの着用を含む交通安全の教育を進めていき、また、車内にベルト着用と書いたり、運転手さんが毎度一声かけるといったことも検討していきます。

議員

トレーニングルームの活用をどう進めるか

教育長

週に1、2回程度、専門資格をもった指導員を配置する

議員

町民の健康維持のため増設されたトレーニングルーム、その周知方法と、今まで利用していなかった人の取り込みについて伺いたい。

教育長

トレーニングルームだよりを広報に掲載予定です。新たな人の取り込みは、開放的なスペースを確保し、テレビを見ながらリラクゼーション運動できるような工夫しました。一般利用者向けの機器を揃え、その使い方についてはスポーツ推進委員さんに協力いただき、

和気あいあいとした運動環境のもと、汗をかいてほしいと考えています。

議員

スポーツ合宿受け入れ時の対応はどう考えているのか。

教育長

本町の体育施設は町民の健康・体力の維持・増進のための施設ですので、合宿受け入れ時は、事前に調整しながら町民の方々に不自由をかけないように努めていきます。

議員

利用率を上げ、ランニングマシンの増加や、専門資格をもった指導員にもっと来てほしいといった声上がるよう啓発し、元氣な津別町民を増やせる施設にしてはどうか。

教育長

運動は人間の基盤づくりであるからこそ、幼児教育・学校教育、働く世代の運動不足解消、高齢者の健康・体力の維持が大切であり、健康で明るい生活を営むために今後とも運動に親しむ機会を充実したいと考えています。

佐藤 久哉 議員

- 地域医療と介護について
- 林業大学の誘致について



議員

津別町の医療の確保をどう考えるか

町長

津別病院への支援を継続したい

議員

津別町の医療の確保のためには、津別病院の存続、通院の足の確保、訪問診療の継続、医療の相談体制などが必要だと考える。今後の津別町の医療の確保をどのように考えているのか伺いたい。

町長

平成23年に「津別町地域医療維持費補助要綱」を策定しまして、医師をはじめ医療従事者の確保や救急医療対策に要する経費の一部を補助するなど、地域の安定した医療環境を維持し、町民の保健と医療が確保されるよう努めているところですよ。

地域に医療機関がなくなれば、医療や介護への影響のみならず、100人近くに及ぶ関連労働者の流出が進み、人口減に拍車がかかることも想定されます。こうした見地からも、今後とも津別病院に対する支援を継続する考えです。

議員

看護師や介護士の方のご苦労に報いるために、何か励みになるような表彰を考えてはどうか。

町長

今、総務課や表彰審議委員会の中でもそういう話題ができていますので、検討したいと思います。

議員

第7期介護保険事業計画の中で、介護保険料の基準額が640円上昇すると示されている。今後、どこまで上げなければいけないのか、また、介護保険料と密接に関連する介護関連施設の建設についてどのような見通しを持っているのか伺いたい。

町長

サービス利用を必要とする方の増加が予想されるため、今後も保険料の上昇は避けられ

れないと考えています。

また、2025年問題後の後期高齢者数の減少や、介護従事者の不足を考え合わせますと、今後、介護保険施設の新規の建て替えや増床は、さらに難しくなると推測していますが、道に対する要請活動を続けていきたいと考えています。

議員

林業大学誘致にどのような効果があるか

町長

若い世代の増加による活性化が見込める

議員

林業大学を誘致することによって得られる経済効果をはじめとした津別町のメリットを町長はどのように想定しているか伺いたい。

町長

実際に誘致が実現した場合、消費等に及ぼす経済効果はもちろんのことであります



が、若い世代の増加により地域の活性化、それから林業・林産業で活躍する人材の確保など、高い効果が期待するところができるかと考えています。

議員

誘致がなれば、町が劇的に変わらぬと思う。今、移住政策としてリノベーションだとか空き家バンクだとかいろいろやっているけれども、大学誘致は究極の移住政策だと思っ。住民の方にも逐一報告していきたいながら、町全体で機運を盛り上げていくべきだと思っどうか。

町長

そのとおりだと思っ。そういう形で進めていきたいと思っ。



議員

「まちづくり会社」が債務超過になった場合の対応は

追加の出資はせず最終的な

デッドラインと捉える

議員

平成28年に採択され、地方創生推進交付金を活用して、地域経済の循環・地域外から外貨獲得・民間主体で稼ぐまちづくり実施を目指し、「まちづくり会社」設立が予定されている。

統括マネージャー募集の応募状況について伺いたい。

町長

道内35人、道外14人、計49人応募があり、福岡県、大阪府、奈良県など、遠方からの応募もありました。



議員

審査項目、採点の基準について伺いたい。

町長

一次選考は書類審査で、①会社設立、運営の実施、実績を有するか。

②津別町の現状分析ができて

いるか。

③会社立ち上げに必要なスキルを有するか。

④実行力、行動力をもっているか。

⑤最後までやり抜いてくれるか。

⑥提案力はあるか。

6項目を採点して、10人の合格者を決定しました。

二次選考は町内の見学と交流会を行い、人物評価で5人に絞ります。

三次選考は4月下旬予定で、一般公開でのプレゼンテーションで、町民の方々からの評価も合わせ決定したい。

議員

町が支援として委託する業務内容について伺いたい。

町長

幾つかあり「ふるさと納税事業」は統括マネージャー着任後、お礼品目、寄附金増額案を含め委託料を検討します。「移住・起業・空き家活用促進事業」は、町がビジネスとして取り組むことが難しい分野であり、委託料を払い推進していきたい。金額については、先進地の事例をみて決めていきたい。

議員

株式会社で設立の場合、代表取締役が決まらないとき、会社の責任の所在をどう考えているのか。

町長

代表取締役は統括マネージャーが兼務することになり、責任については、株主、取締役会が負うこととなります。

株主は、出資する町と事業計画策定後に募る民間企業、個人によって構成されます。取締役については、今後の検討になります。

議員

利益が出た場合、債務超過の場合、町の対応についてどう考えているのか。

町長

累積での利益計上には数年を要すると思うので、事業に再投資いただく考えですが、資本構成次第といえます。

債務超過の場合についても資本構成で変わりますが、町からの追加出資は現時点で想定しません。「本事業財源」の理念・規定は「自主性」が前提で、赤字体質の会社へ継続補填、延命を避けるため、債務超過は最終的なデッドラインと捉え、経営の刷新、会社の清算の判断となります。

議員

会社設立に関わる、町長の責任と覚悟を伺いたい。

町長

町政全般に責任を持つ立場として、さまざまな問題を抱えています。一つ一つ前へ進んでいきたい。

